

第1回田植え不要の米作り推進コンソーシアム

NEWGREEN 代表取締役 中條大希

2025.09.25



木更津圃場での実践_5年以上耕作されていない農地で営農開始



木更津市の状況

耕地面積

2004	2,770ha
2024	2,250ha
20年間の減少数	520ha

基幹的農業従事者

2010	1,505名
2020	904名
10年間の減少数	601名



木更津圃場での実践_2024年、5年以上放棄地で営農開始



BS資材散布風景

木更津圃場での実践_2024年、5年以上放棄地で営農開始

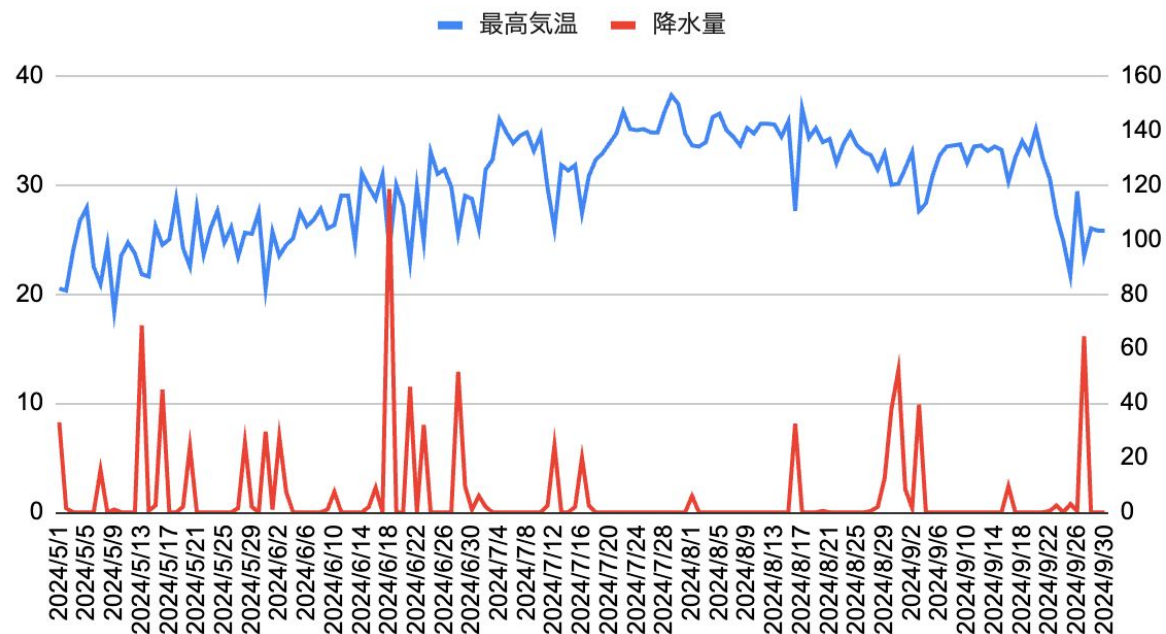


木更津圃場での実践_2024年、5年以上放棄地で営農開始

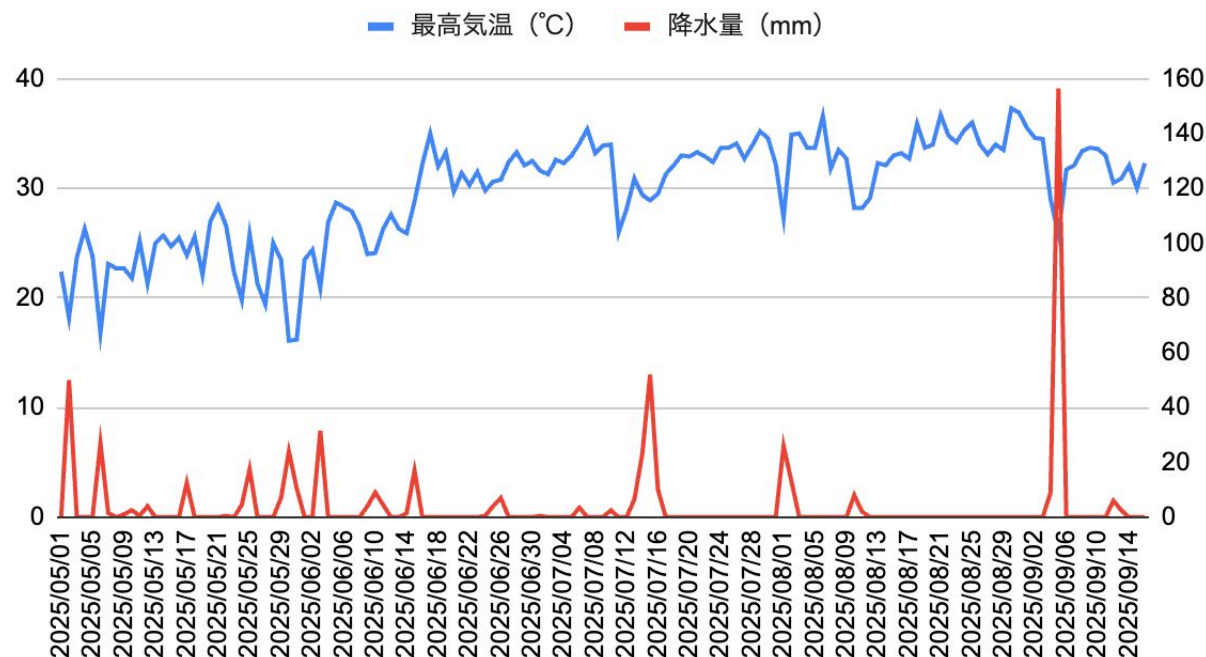


木更津は、2年連続の酷暑 & 幼穂形成期~登熟期の少雨

2024年_木更津の最高気温(℃) と 降水量の合計(mm)



2025年_木更津の最高気温 (℃) と 降水量 (mm)



人為的な灌水/通水は最低限で、省力化を実現しつつ
耕作放棄から2年で、慣行並み収量を達成することができた

	2024	2025
最大収穫量（玄米重）/10a	5.8俵	8.2俵
労働時間/10a（乾燥調整を除く）	4.9時間	3.6時間

節水型乾田直播の重要課題

乾田直播の課題

- 適切な播種と出芽管理
- 初期の雑草管理

節水の課題

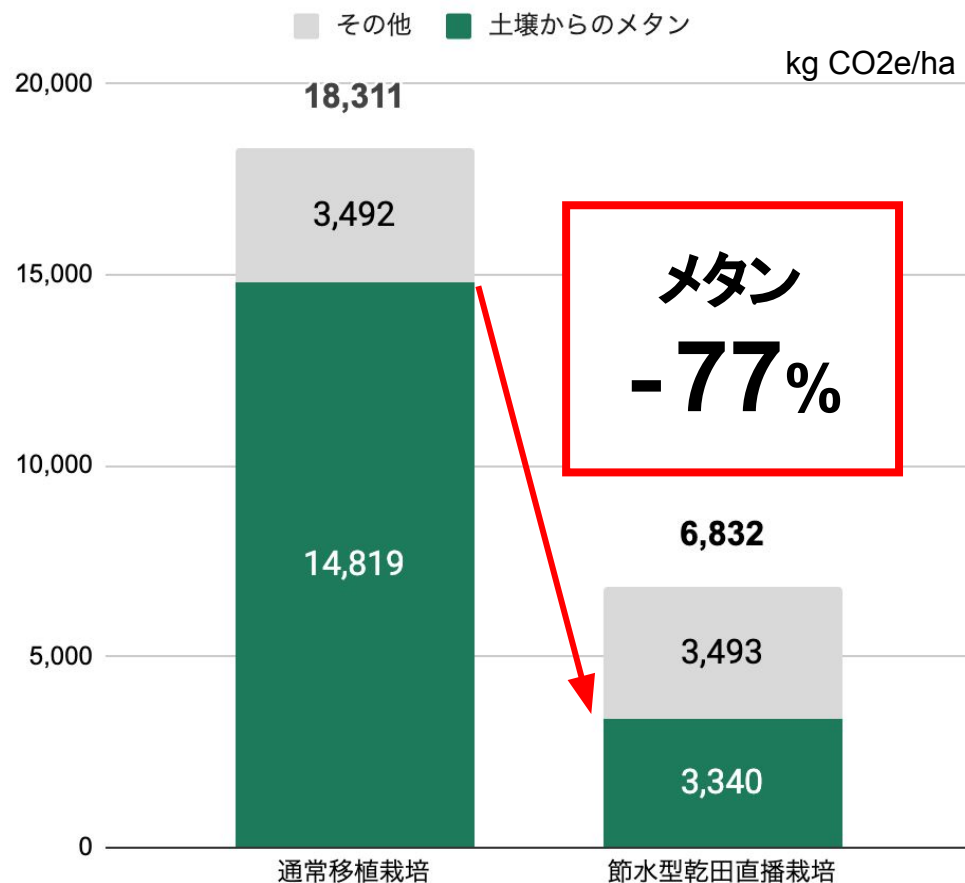
- 中期以降の雑草管理
- 肥培管理（微量元素を含む）
- 連作障害への対応

水稻においても
これまでの畑作物のように

土づくりの重要性が向上

科学的アプローチが必須

稲作における温室効果ガス総排出量を低減できる可能性



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

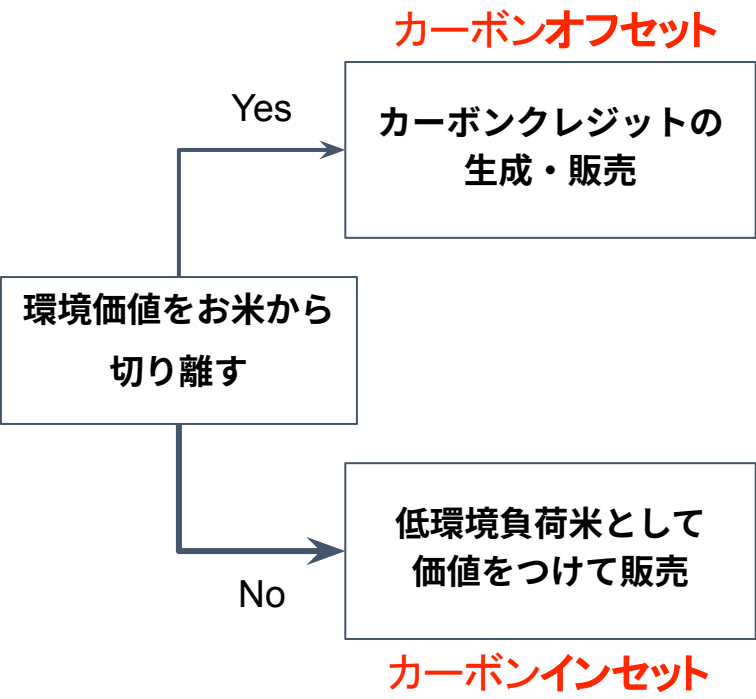
TCFD

TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

左図：メタン減少量はIPCCの算出指標に基づき、
埼玉県での事例をもとに当社が算出
より精緻な算出モデルを検証中



環境価値を経済化し、農業者に還元する仕組みを推進



メリット	デメリット
農業者がカーボンクレジットとして収入を得られる	実需家はScope 3に反映できない
流通に関連する全員が環境価値を活用できる	GXリーグ企業の需要には対応できない